

平成 29 年 5 月 16 日

各 位

上場会社名 株式会社 アパールデータ
 代表者名 代表取締役社長 広光 勲
 (コード番号 6 9 1 8)
 問合せ先責任者 管理本部担当部長 大関 拓夫
 (TEL 042-732-1000)

通期業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成29年2月10日付け「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において公表した平成29年3月期の業績予想値と本日発表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成29年3月31日を基準日とする剰余金の配当（期末配当）について、平成29年6月23日開催予定の定時株主総会に付議することを本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 7,650	百万円 795	百万円 820	百万円 555	円 銭 92.46
実績値 (B)	7,797	906	933	685	114.08
差額 (B-A)	147	111	113	130	
差額率 (%)	1.9	14.0	13.8	23.6	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	6,957	630	661	431	68.58

2. 平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値と実績値との差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 5,300	百万円 665	百万円 705	百万円 485	円 銭 80.80
実績値 (B)	5,393	711	754	592	98.60
差額 (B-A)	93	46	49	107	
差額率 (%)	1.8	7.0	7.0	22.2	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	4,567	510	548	383	60.87

3. 差異の理由

(1) 連結

当期における半導体業界は、大手半導体メーカーの次世代プロセス関連の設備投資により、半導体製造装置関連市場における需要は、期初より順調に推移いたしました。また自社製品・画像処理モジュールにおいては、新製品の立ち上がりに加え、新分野での展開が好調に推移しております。このため平成29年2月10日付け「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において公表した平成29年3月期の売上予想値と本日発表の実績値との間に下記のとりの差異が生じました。

また営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益におきましても、このような売上高の増加及びこれに伴う生産稼働率ならびに自社製品全般が好調なことによる売上総利益の向上によりそれぞれの予想を上回る結果となりました。

(2) 個別

連結における修正理由同様、個別業績についても実績との差異が発生したことから、あわせて開示をいたします。

4. 剰余金の配当（期末配当）

	決 定 額	直近の配当予想 (平成 29 年 2 月 10 日公表)	前期実績 (平成 28 年 3 月期)
基 準 日	平成 29 年 3 月 31 日	同 左	平成 28 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	27 円 00 銭	20 円 00 銭	17 円 00 銭
配当金総額	163 百万円	—	102 百万円
効力発生日	平成 29 年 6 月 26 日	—	平成 28 年 6 月 27 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

5. 修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策の一つと考え、安定的な配当にも考慮しつつ、各期の連結業績に応じた利益の配分を基本方針としております。そして将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、連結配当性向35%を基本に株主の皆様への成果配分を行ってまいりました。

このような方針のもと、期末の配当につきましては、既述の業績実績並びに株主の皆様への利益の配分の基本方針を考慮し、平成29年2月10日に修正発表した配当予想を上記のとおり再修正いたします。

(参考) 年間配当の内訳

基 準 日	1 株あたり配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	年 間
当 期 実 績	12 円 00 銭	27 円 00 銭	39 円 00 銭
前期実績(平成 28 年 3 月期)	8 円 00 銭	17 円 00 銭	25 円 00 銭